

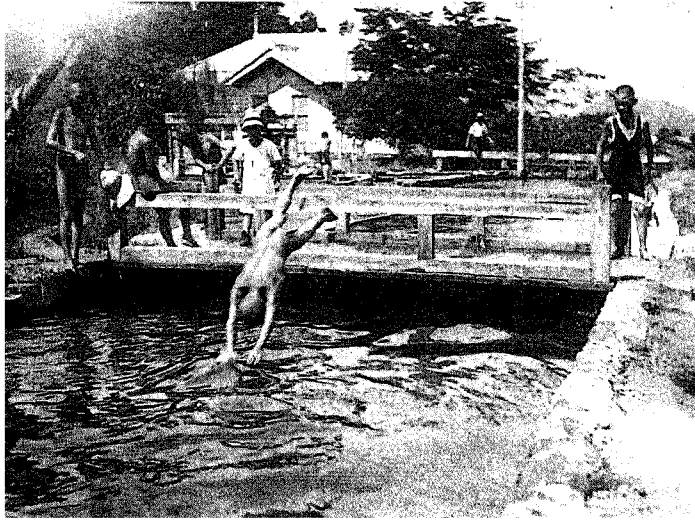
# 家中川はこんなに汚れています。

## 河川水質調査の結果について

六月一日に市内八河川二十二ヶ所において実施した河川水質調査の結果、全ての河川に水質の悪化が見受けられます。この原因として生活水準の向上に伴う多量な生活雑排水のたれ流し及び点検・清掃を行っていないし尿浄化槽排水が考えられます。

また今回、特に汚染が目についた河川は、住宅の密集する地域を流れる家中川で、魚が住めない水質状態ばかりでなく、悪臭や蚊・ハエなどの害虫が発生し、生活環境にも悪影響を及ぼす程汚染は進んでいます。

江戸時代から谷村城下を雄々ときよらかな水辺を誇らしげに家中川は流れていました。現在の家中川は、  
 発泡スチロール・野菜くず・材木片・空き缶、あげくの



家中川での水遊び《昭和初期の頃》

果てにはタイヤも流れて来ます。

工場排水・家庭雑排水はたれ流され、ゴミ捨て場となり無残な姿をさらけ出しています。

こんな姿にだれがした。「私をこんなに汚したのは誰だ」そんな自然の声が聞こえて来るような気がします。

みなさんの手により、谷村城下を流れる歴史ある河川に清流を呼び戻し、住み良い生活環境をつくってゆきましょう。

## 家中川と桂川の比較（63年6月1日調査より）

	採取箇所	大腸菌数	有機汚濁物
上	桂川（境橋下）	1ccあたり31コ	1ℓあたり 1.8mg
流	家中川（ <small>田原 十萬石前</small> ）	” 200コ	” 1.8mg
下	桂川（院辺橋下）	” 28コ	” 1.7mg
流	家中川（かぶとや前）	” 700コ	” 6.4mg



※桂川は、上流より下流の方が数値が低く浄化作用が働いているのが分かりますが、家中川の場合、浄化作用以上に汚水量が多く下流では3倍以上の汚染がみられます。

ちよつと一言

ふるさと交流事業で、去る7月28日・29日の両日、板橋区の少年少女ら一行57人が来市し、イモ堀りや鹿留川でのマスつかみどりなど体験し、楽しく過ごしました。皆さんは、水と緑に恵まれた都留の自然にたいへん感激し、このような自然の中で生活できる都留市民をうらやまとともに、この環境をいつまでも大切にしたいと語っていました。

## 鹿留川にて

